

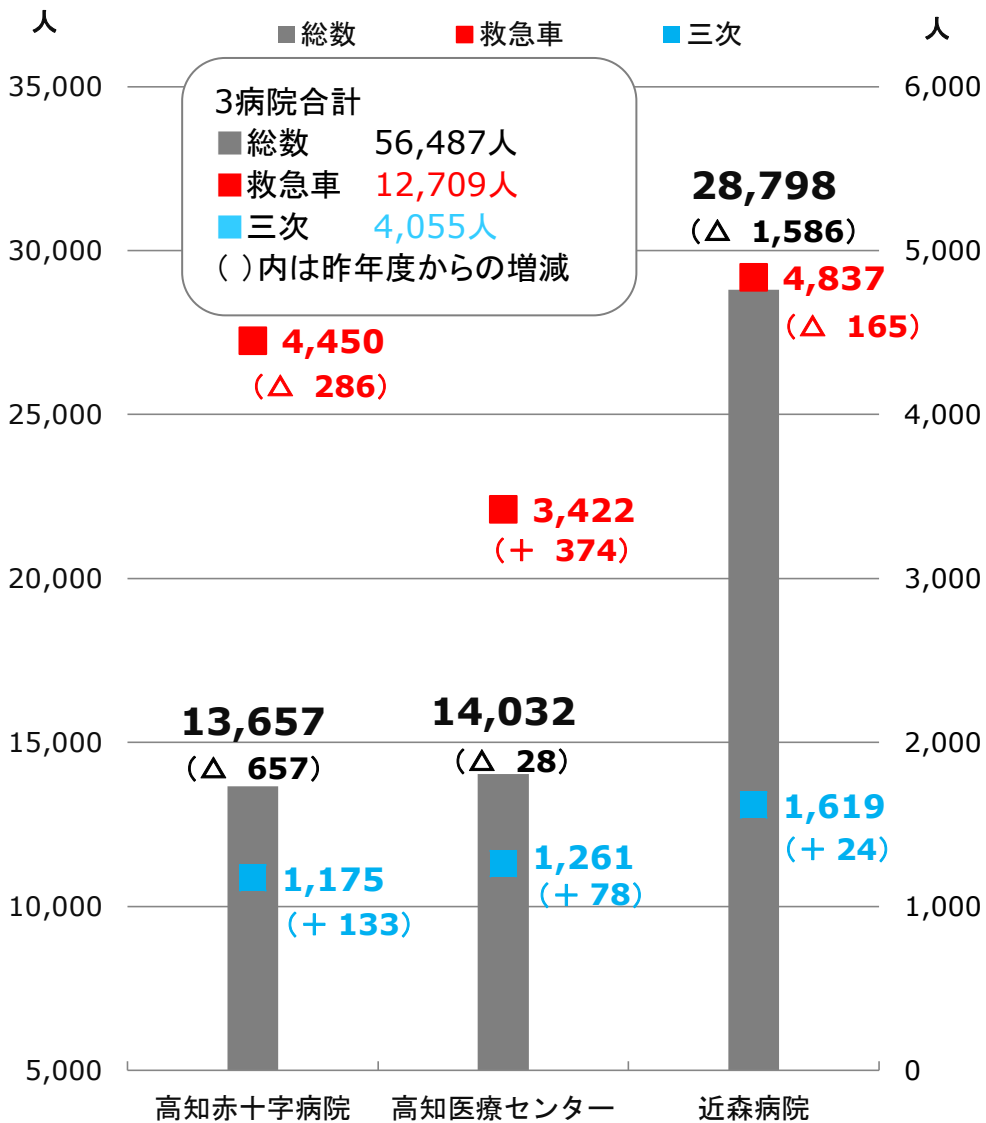
# 救命救急センター運営状況について

出典：H26.9.1開催 平成26年度 三病院救命救急センター連絡協議会資料

資料9

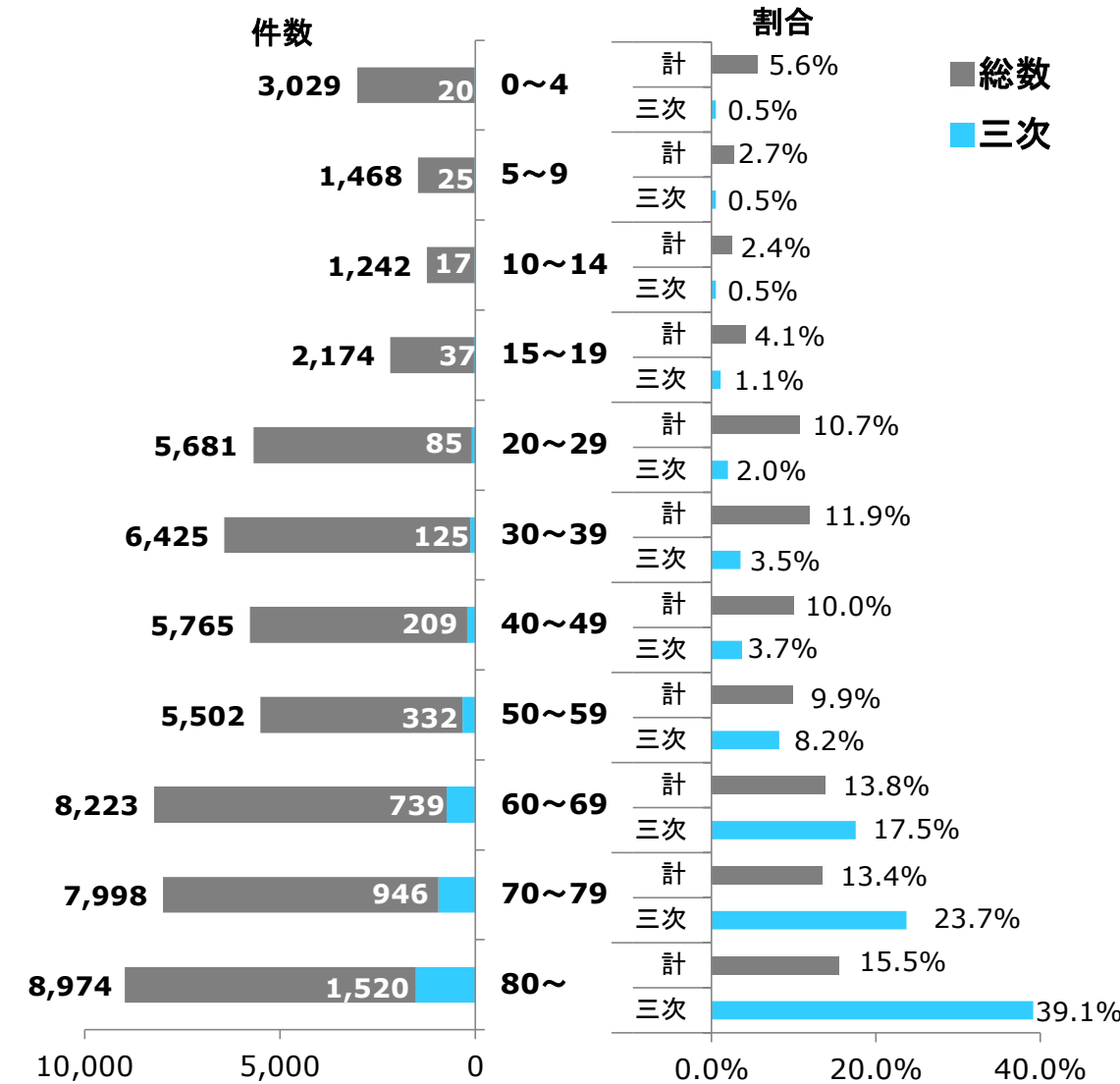
## 三病院資料のまとめ

### 1. 平成25年度救命救急センター患者数 総数・救急車・三次



※3病院の合計では、毎年13,000人程度の救急搬入（うち3次4,000人）が発生し、ほぼ横ばいのため、救命救急センター間で補完しあっていると思われます。

### 7. 平成25年度年齢別取扱患者数



※全体では15歳未満11%、15歳～59歳未満46%、60歳以上が43%を占める。特に、70歳以上の高齢者の3次救急割合が、全体の63%を占めているのが高知県の特徴と思われます。

### 15. 平成25年度重篤患者数・全患者数に占める割合

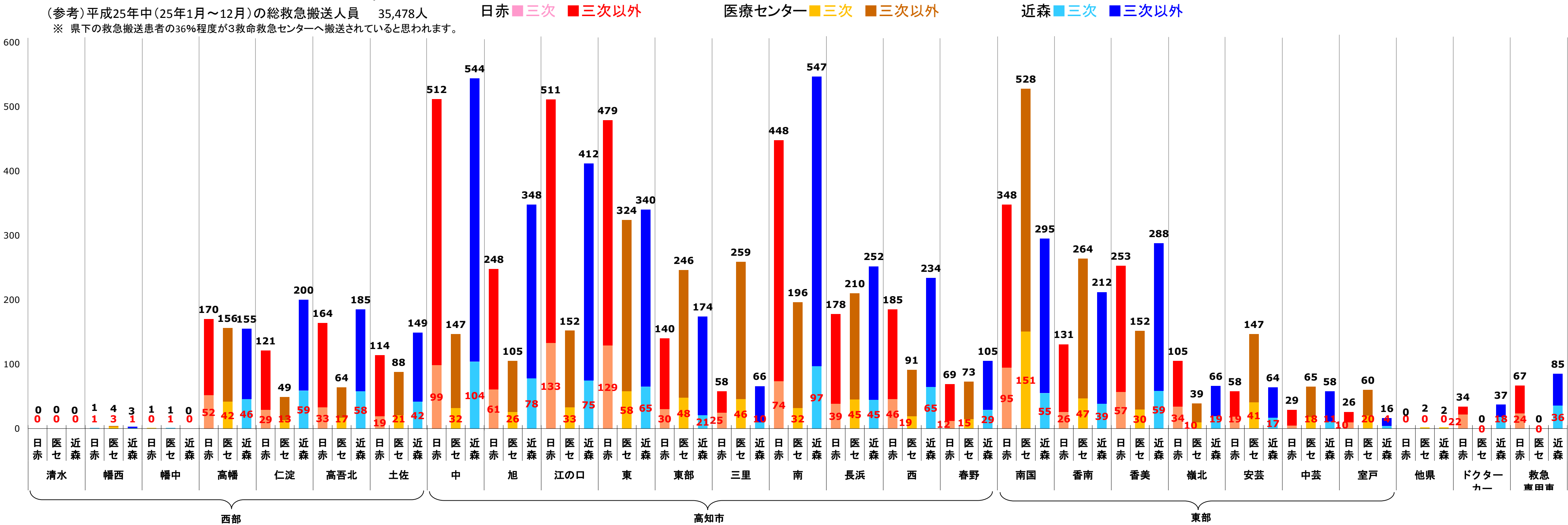
※青字：100件超、赤字：総計3,693件に占める割合が5.0%超  
一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

| 番号 | 疾病名       | 基準（基準を満たすもののみ数えること）                                            | 高知赤十字病院       | 高知医療センター      | 近森病院          | 合計    |
|----|-----------|----------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 1  | 病院外心停止    | 病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む                                          | 115 (3.1%)    | 116 (3.1%)    | 135 (3.7%)    | 366   |
| 2  | 重症急性冠症候群  | 切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例                                   | 71 (1.9%)     | 183 (5.0%)    | 280 (7.6%)    | 534   |
| 3  | 重症大動脈疾患   | 急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂                                                | 21 (0.6%)     | 43 (1.2%)     | 33 (0.9%)     | 97    |
| 4  | 重症脳血管障害   | 来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例                            | 114 (3.1%)    | 177 (4.8%)    | 110 (3.0%)    | 401   |
| 5  | 重症外傷      | Max AISが3以上又は緊急手術施行例                                           | 160 (4.3%)    | 202 (5.5%)    | 595 (16.1%)   | 957   |
| 6  | 重症熱傷      | Artzの基準による                                                     | 5 (0.1%)      | 7 (0.2%)      | 1 (0.0%)      | 13    |
| 7  | 重症急性中毒    | 来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例                                         | 20 (0.5%)     | 37 (1.0%)     | 13 (0.4%)     | 70    |
| 8  | 重症消化管出血   | 緊急内視鏡施行例                                                       | 44 (1.2%)     | 30 (0.8%)     | 169 (4.6%)    | 243   |
| 9  | 重症敗血症     | 感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例                                   | 50 (1.4%)     | 94 (2.5%)     | 37 (1.0%)     | 181   |
| 10 | 重症体温異常    | 熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例                                         | 1 (0.0%)      | 4 (0.1%)      | 4 (0.1%)      | 9     |
| 11 | 特殊感染症     | ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等                                               | 1 (0.0%)      | 1 (0.0%)      | 1 (0.0%)      | 3     |
| 12 | 重症呼吸不全    | 人工呼吸器管理症例（1から11までを除く。）                                         | 225 (6.1%)    | 45 (1.2%)     | 100 (2.7%)    | 370   |
| 13 | 重症急性心不全   | 人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例（1から11までを除く。）        | 77 (2.1%)     | 65 (1.8%)     | 109 (3.0%)    | 251   |
| 14 | 重症出血性ショック | 24時間以内に10単位以上の輸血必要例（1から11までを除く。）                               | 0 (0.0%)      | 18 (0.5%)     | 1 (0.0%)      | 19    |
| 15 | 重症意識障害    | JCS 100以上が24時間以上持続（1から11までを除く。）                                | 5 (0.1%)      | 12 (0.3%)     | 1 (0.0%)      | 18    |
| 16 | 重篤な肝不全    | 血漿交換又は血液浄化療法施行例（1から11までを除く。）                                   | 2 (0.1%)      | 5 (0.1%)      | 2 (0.1%)      | 9     |
| 17 | 重篤な急性腎不全  | 血液浄化療法施行例（1から11までを除く。）                                         | 21 (0.6%)     | 19 (0.5%)     | 25 (0.7%)     | 65    |
| 18 | その他の重症病態  | 重症肺炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を要した症例（1から17までを除く。） | 81 (2.2%)     | 3 (0.1%)      | 3 (0.1%)      | 87    |
| 合計 |           |                                                                | 1,013 (27.4%) | 1,061 (28.7%) | 1,619 (43.8%) | 3,693 |

### 9. 平成25年度 救急車地域別搬入患者数（全件 12,709人）

（参考）平成25年中（25年1月～12月）の総救急搬送人員 35,478人

※ 県下の救急搬送患者の36%程度が3救命救急センターへ搬送されていると思われます。



※地域別で救急車出勤が多いのは、中消防、東消防、南消防、南国消防などで、病院の立地によって搬入の特色が出ている。